キャリアアップ通信

Vol.7　2021年　8月号
発行：医療局職員課

はじめに

皆さん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。
県立病院で働く職員を紹介する「キャリアアップ通信」の第７号が完成しました。
今号では認定理学療法士と他県への応援で活躍した看護師の２名を紹介します。
ぜひ今後のキャリアアップの参考にしてください！

認定理学療法士への道

（県立病院に１２名在籍）

【認定理学療法士とは】

新人教育プログラム修了者を対象に、自らの専門性を高め、高い専門的臨床技能の維持、社会、職能面における理学療法の専門性（技術・スキル）を高めていくことを目的とし、日本理学療法士協会が認定しています。

【申請のための必須要件】

以下の要件（合計 180p）を全て満たすことで試験申込が可能です。

①新人教育プログラムが終了していること。（20p）
②希望領域を含む専門分野登録をしてから２年以上経過していること。
③希望領域に該当する有効期限内の認定必須研修会を受講していること。（20p）
④有効期限内の協会指定研修を受講していること。（40p）
⑤上記とは別に、各領域の履修要件に即したポイント 100p を取得していること。（100p）

試験は、10 症例のレポート審査を受けた上に、筆記試験があります。

※2022 年度から新生涯学習制度がスタートする予定です。これまでの新人教育プログラムは廃止され、まずは登録理学療法士として研鑽を積むことになります。

岩手県立病院では職域団体での審査のうえ、各種研修、学会等への出張派遣を支援しています！　（参加費、旅費、認定料等公費負担）

岩手県立病院（看護科）の教育体制

◆新採用時から、看護職員のレベルに応じた教育プログラムを提供し、主体的にキャリア開発できるように支援しています。

岩手県立病院 看護科の継続教育

○ 専門職者として生涯に渡り成長できる
○ 職員一人ひとりの習熟度に応じた教育プログラムによる、採用時からの継続教育
○ 職員一人ひとりの自己実現に向けて主体的にキャリア開発ができるよう支援しています！

レベルⅤ（概ね 12 年目~）
医療のチームにおいて　看護の立場でリーダーシップを発揮できる

レベルⅣ（概ね 7~15 年目）
部署において　看護の立場でリーダーシップを発揮できる

レベルⅢ（概ね 4~10 年目）　★**一人前の看護師**★
受持ち看護師として自立役割モデルを目指す

レベルⅡ（概ね 2~5 年目）
担当看護師として自立し　受持ち看護師を目指す

レベルⅠ（概ね新人~2 年目）
担当看護師として能力を身につける

スペシャリスト

各種資格取得

◆岩手県立病院はどの病院でも新人看護職員としての到達目標を達成できる教育が受けられます。

		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
医療局研修	新採用者研修	前期 (2日間　宿泊)		後期 (2日間　宿泊)	
	技術研修	Ⅰ（4月　2日間） 感染防止技術 医療安全 採血、静脈注射 他	Ⅱ（6月　1日間） 褥瘡予防 ポジショニング スキンケア　　他	Ⅲ（11月　1日間） バイタルサイン観察とアセスメント　吸引 気管挿管介助　他	
院内研修	Off-JT	『私がしたい看護』 夜勤導入 3か月リフレッシュ	移乗の技術 心電図 急変時の看護 看護記録	看護過程 麻薬、ハイリスク薬 多重課題 エンゼル・グリーフケア	1年の振り返り
	ＯＪＴ	月ごとの目標と個別に合わせた進度 夜勤研修は各勤務　各１回（通常より多い人数でスタート）			
院外研修		岩手県看護協会新人研修 岩手県立大学新人研修　他			

岩手県立病院はみなさんを組織全体で支えます！

認定理学療法士

認定理学療法士（循環）

中央病院　リハビリテーション技術科　理学療法士

鈴木 さやか　さん



Q　**資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください**

一つ目のきっかけは、臨床経験 8 年目の中央病院への異動で、初めて心疾患の患者さんのリハビリテーションに携わり、実際に心臓血管手術後や心筋梗塞の患者さんを担当する中で、聞くもの、見るもの全てが新鮮でのめり込んでしまったことです。毎日新しい知識を吸収することがとても楽しく充実していました。

二つ目のきっかけは、子どもが誕生したことです。育児休業から復帰後、仕事に徐々に慣れてきた時、自分自身に何か強みになるものが欲しいと感じるようになりました。短時間勤務をしていたので周囲にどうしても引け目を感じていたのですが、認定理学療法士を取得することで、その状況をできるだけ前向きに捉えようと思いました。

Q　**資格取得までの流れを教えてください**

認定理学療法士取得には各領域の履修要件に即した受講ポイント 100 ポイントが必要となるのですが、私は出産前に 60 ポイント、復帰後に 40 ポイント取得しました。育児をしながら 40 ポイントを取得するのに少し苦労した記憶があります。休日の研修会に参加するためには家族の協力が不可欠でした。

Q　**育児とキャリアアップの両立は大変ではありませんでしたか。**

正直、大変と思う瞬間もありました。私は子供が就寝した後、21 時半頃から約 2 時間を症例報告の作成時間や試験勉強の時間に当てていました。（子供と一緒に寝てしまうことも多々あり･･･）勉強を終え、いざ自分も寝ようとしたタイミングで、子供の夜泣きが始まったりして･･･わたしも泣きたーいと思った記憶があります。

そのような環境でも、様々な休暇制度や所属部署の支援もあり乗り越えられました。子供が 1 歳になるまでは育児休業を取得し、育児に専念することで復帰後のモチベーション維持にもつながりました。復帰後は育児短時間勤務制度や子供が体調を崩した時の看護休暇の取得などにより、育児の時間、家事の時間を確保することができました。部署内では定時で帰れるように仕事量を調整してもらいました。同僚には先輩パパ、ママも多くいますので、仕事のことも子育てのことも相談しながら頑張ることができました。

Q　**資格取得後の院内での活動状況を教えてください**

ICU で心臓血管手術後のリハビリに携わり、看護師の方々と協働しながら人工呼吸器やドレーンがついた状態からの離床を積極的に進めました。また、患者さんが一般病棟に移ったあとは術後合併症に注意しながら、退院までの間の運動療法を実施しました。外来心臓リハビリテーションの開設にも携わりました。

現在はがんリハチームに所属していますが、高齢の方や重複障害の方が多く、循環器疾患を抱えていることも少なくないので、循環認定理学療法士として得たものが非常に役に立っています。それらをできるだけ後輩に伝えて、チームとしてスキルアップしていきたいと思っています。

Q　**これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします**

効率よく勉強するためのポイントですが、日々の臨床の中で分からなかったことを5分でも 10 分でも調べることが大切だと思います。認定理学療法士は「臨床実践分野に秀でた理学療法士」として位置付けられていますので、試験問題は臨床場面で目にするような内容が中心です。改めて試験勉強をするというよりは、毎日少しの時間で知識をアップデートする姿勢が良いと思います。そして時には”根性”（？）が必要かも･･･しれません（笑）

Q　**その他、皆さんに伝えたいことがあればお願いします**

興味をもったことには、全力で取り組んでみてください。最近はリモート開催の学会や研修会も増えているので、時間を有効に使いながら研鑽を積むことができると思います。研鑽を積むことで、それが患者さんに還元され、ますます臨床が楽しくなると思います。

最後に、日頃からサポートしてくださっている皆様へ。「”感謝”感謝”感謝です。ありがとうございます。」

採用3年目
看護師

採用3年目看護師　（沖縄県への応援職員として活躍）

釜石病院　看護師
千葉　健吾　さん



Q　**<u>新型コロナの関係で、沖縄県への応援職員として活躍されましたが、派遣依頼に応じることとなったきっかけはありますか</u>**

新型コロナウイルス感染症が各地で広がり、逼迫する医療体制の中、自分が赴くことで、そこで働く医療スタッフの負担軽減や、患者さんに提供される医療の質が少しでも保たれればいいと思い、依頼に応じました。

Q　**<u>派遣に対して不安はありませんでしたか</u>**

感染対策においては、感染管理認定看護師指導の下、PPE の着脱など普段から実施していたため、不安はありませんでした。

他病院へ応援に行くことについては、地域や病院が変われば物品やケア方法も変わり適応できるのか、また、実務経験も浅く業務の補完ができるのかなど不安はありました。

Q　**<u>派遣先での活動状況について教えてください</u>**

普段の業務とあまり大きく変わることはなく、注射・点滴や患者さんの身の回りのケアを行ってきました。コロナ病棟では、PPE 装着し、患者の身の回りのケアの他、人工呼吸器の管理を行ってきました。そこで働くスタッフのみなさんは大変な苦労をされてきていますので、少しでも負担を軽くすることができればという思いでした。

Q　**<u>応援職員としての経験をどう活かしていきますか、今後学びたい分野や経験したい業務について教えてください</u>**

現在、自分は整形外科・泌尿器科に所属しています。応援として他科へいくこともあり、自信のスキルアップにもつながり、患者さんへ提供する看護の質向上にもつながっています。DMATチームにも所属していますので、今後の災害時の派遣にも経験が役に立てばいいと思います。今後は、ジェネラリストととして活躍できるよう多分野の経験・学習を積み重ねて行こうと思います。

Q　**<u>これから看護師として働く方へのアドバイスをお願いします</u>**

新型コロナウイルスの蔓延や少子高齢化の進展、医療技術の進歩に伴い、医療における看護師への期待は今後も高まっていくと思います。そんな中で自分が関わる患者さんへ何が出来るか、どんな選択肢があるのかを知るためには多くのことを学ばなければなりません。大変なことも多いですが、とてもやり甲斐のある仕事です。是非一緒に働けることを楽しみにしています。



【病棟師長から】

千葉さんは、助言や指導、サポートを真摯に受け止める素直さを持っています。そのことが看護師としての成長に繋がり、周囲からの信頼を得て、さわやかな印象を残す要因となっていると思います。

派遣先病院からはいつも「帰したくない。」と言われています。

【派遣先からのコメント】

当院でコロナが蔓延し厳しい状況の中、千葉さんは風のように現れ、スーパーマンのように助けてくれました。笑顔の素敵なイケメン男子に応援に来てもらい、患者さんだけでなく、我々、看護スタッフも元気をもらいました。

千葉さんは依頼した仕事を快く引き受け、自分から率先して仕事を探すなど、当院のスタッフと同じように働き、すごく自然に現場に馴染んでいました。看護師経験3年目でありながら、当院以外にもコロナ関係の応援経験があると聞き、感心させられました。

千葉さんのお陰で、病棟スタッフは元気で働いています。

釜石病院さん、千葉さん、心から感謝しています！

派遣先病院・他県から派遣の皆さんと一緒に記念撮影

